



こども教育学だより

鈴鹿大学こども教育学部通信 12号

実習(2年)・講習(1年) 頑張りました!

この春、幼児教育学専攻は保育実習(保育所)、養護教育学専攻は臨床看護実習があり、保育・医療の現場で多くを学ぶことができました。まず、幼児教育学専攻2年生は、2月12日から10日間の保育実習を行いました。初めての実習で、分からないことも多く、緊張の連続で始まったようですが、子どもたちの笑顔と元気で徐々に慣れていったとのこと。子どもたちと関わる中で、毎日新しい発見に出会い、驚きとともに多くのことを学んだとのことでした。(田島孝次郎)



保育実習(保育所)の一コマ

日本赤十字社三重支部の講師に来て頂き、専門的な知識と技術を学ぶ幼児安全法講習が開催されました(2/5,6)。赤十字の講習で行う手当ては、救命のために市民の行う一次救命処置と、傷病の状態をそれ以上悪化させないで医師の治療を受けられるようにするための応急手当です。1年生のうちこの資格を得ることで、今後の大学生活の中で参加するボランティア活動や学校や保育所での実習時の万一の場面にも対応できるスキルを兼ね備えられます。春休みを利用して、資格講習や講座開催などを実施し、自分自身のスキルアップをはかっています。(小川真由子)



授業紹介

こどもの運動あそび 生島嘉人



「あそび」はこどもにとって重要な活動です。こども達を「遊ばせる」のではなく、こどもの持つ発想力や好奇心を刺激し「やってみたい」「どうなるのかな」とワクワクさせる。支援者は、活動の中でこどもに「あそび」を発見させる。『こどもの運動遊び』は体験を通じてこどもの好奇心を育てる技術を学ぶ授業です。こどもの「やってみたい」を「対象に合わせたあそび」に変化させ、指導法を考える。頭と身体を全部使う参加型の授業です。

解剖学 櫻井秀樹

養護教育学専攻2年生対象の「解剖学」は、主に人体の構造について学びます。すでに1年生の基礎看護学で解剖学用語には馴染んでいますが、この授業では人体つくる器官(臓器)の肉眼的解剖学とともに細胞、組織レベルで人体の構造と機能についても理解を深めることができます。児童生徒に身体的な応急処置をしたり、保健指導や健康診断に関わる養護教諭にとっては必須の知識であり、学生同士で問題を出し合って積極的に学ぶ姿が見られます。



2、3月トピックス



「教職概論」ゲストスピーカー講義(1/25)

学校や地域で子どもの学びを応援する人たちの交流会 (3/11)

三重県教育委員会は、住民や団体等が参画するネットワークの構築、地域の教育力の向上を目指して、「地域の教育力向上ネットワーク構築事業」を行っています。昨年度に続いて「北ブロック交流会」を3月11日、本学で開催しました。社会教育委員、放課後子ども教室の関係者、地域学校協働活動推進のためのコーディネーター、教育委員会事務局等の関係職員の方々、県教委スタッフや本学学生・教員をあわせ約40名が、こどもの教育について一緒に考えました。杉山佳菜子准教授による基調講演。「現場で“気になる子”の支援を考える」として、基本用語の確認と調査結果、「“気になる子”にしない取り組み」として、早期発見・早期療育の仕組み、5歳児健診実態、「生涯発達支援に向けて」として、現代の幼保小接続の具体的な課題を学びました。その後、6グループに分かれて、ある事例の検討を進めました。「自立した生活を送れるような支援計画」を、上記の多職種・多世代の参加者に、幼稚園教諭や養護教諭を目指すこども教育学部の2年生が加わり、それぞれの立場で意見交換しました。グループ発表では、同じテーマでも多様な角度からのコメントが展開し、交流と学びを大いに深めました。参加したこども教育学部の2年生は、今年度経験した学外実習の経験を活かして、グループ発表や書記、進行などの役割をこなしていました。(川又俊則)



グループ交流と発表の様子



今年度最後の第8回つなぐ事例勉強会(写真)が、2月8日に行われました。テーマは「学校で起こりやすい感染症についての現状と対策」。玉城町立小学校の養護助教諭笠井瑞紀先生(本学専攻科卒)を講師に、主にインフルエンザ、ノロウイルス、麻疹(はしか)の報告があり、感染予防対策の紹介をはじめ、罹患者の現状、学級閉鎖の流れなど具体的な活動の内容の報告の後、参加者同士で活発な質疑応答や情報交換が行われ、有意義な勉強会となりました。(小川真由子)

佛教大学と協定調印(通信教育課程)

こども教育学部は毎年改革を進めています。3月15日、通信教育課程で定評のある佛教大学と大学間協定を結びました。新たな費用は発生しますが、希望者(2,3学年)は、次年度から「特別科目等履修生」として、本学での学び(幼稚園教諭や中高保健科教諭の科目履修)を前提に、通信教育・スクーリング・教育実習などを無事にクリアできれば、小学校教諭一種免許状が取得可能になりました(幼児教育学専攻、養護教育学専攻ともに)。2月5日と3月11日に、在学生向けの説明会を行ったところ、「新たな学びにチャレンジしたい」「以前から取得に憧れていた」「養護教諭として働くため教職を深く学びたい」などと意欲あふれる希望者がいました。私たちも新たな一歩を支援していきます。(川又俊則)

イメージキャラクター
よるこびちゃん



教育協定締結調印式
市野聖治鈴鹿大学学長(左)
田中典彦佛教大学学長(右)
(3/15 於: 佛教大学)

あとがき



基礎ゼミナールⅣの発表会

平成31年3月15日発行
鈴鹿大学こども教育学部通信 12号

いよいよ新年度からは3学年となり、学部の教員スタッフも全員そろいます。新生こども教育学部が発進します。もう一つの学部は「国際地域学部」に衣替えします。学内外の交流も深めていきましょう。次号は新元号での表記になるでしょうか。(TK)